

平成23年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典

3月27日（火）、平成23年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、町田達也参事官と東南アジア文化支援プロジェクト（CAPSEA）のペン・セタリン代表が、「識字教育支援計画」（供与限度額：17,570米ドル）案件の贈与契約書に署名を行いました。



カンボジアにおける2008年国勢調査によると、全人口のうち7歳以上の識字率は78%であるものの、小学校では暗記学習が主流でクメール語教科書の丸暗記が識字力学習にすり替えられている場合が多いため、丸暗記した教科書本文は読めるが他に書かれている文字が読めない児童が多く見られます。

本事業では、教育・青少年・スポーツ省発行のクメール語教科書での学習がより系統的行えるようCAPSEAが独自に作成した全ページカラーの識字テキストを3,000部印刷、配布要請のあった小学校19校と識字教室1か所に配布します。また、日本語絵本74作品にクメール語訳を付し、CAPSEAセンター利用者や移動図書館訪問先小学校児童と村民に対し、質の高い内容の図書に触れ、効果的に文字を読む力を養う機会を提供します。

式典では、町田参事官がスピーチを行い、本事業がカンボジアの識字率向上に大きな役割を果たすことが期待されると述べました。続いて、ペン・セタリン代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、地域社会により良い識字教育の機会を提供できるよう努めていくことを約束しました。

